

冬の寒さが日に日に厳しさを増してきました。ついこの間、ぱんだ組に進級・入園したように感じますが、あっという間に3学期となりました。いよいよ、ぱんだ組として過ごす最後の学期です。

最近のぱんだ組では、サンタさんからいただいた大型積み木が大人気です。四角く並べて温泉ごっこをしたり、積み上げて高さを競ったり、門を作って何度もくぐったりと、イメージを上手に形にしながら、楽しそうに遊ぶ姿が見られます。廃材遊びでは、新しい素材を見つけるとすぐに手に取り、マーカーやセロハンテープを使って、どんどん作品を作り上げています。個々の興味に応じて、担任と一緒に鉄の使い方をを行い、一人で鉄を使えるお友だちも増えてきました。なりきり遊びやごっこ遊びも大好きで、お人形を抱っこしながらお友だちと手をつないでお買い物に行ったり、ご飯を作ったりしています。ぱんだ組さんはとても仲が良く、お友だちが泣いていると「どうしたの?」と声をかけ、ティッシュで涙を拭いてあげる優しい姿も見られます。お友だちとの関わりが深まる一方で、言葉で気持ちを伝えきれず、いさかいになることもあります。2〜3歳は自己主張が強くなる時期です。こうしたやり取りも成長の過程と捉え、それぞれの気持ちを受け止めながら、言葉を代弁したり、「自分だったらどうかな。」と考えたりすることで、双方が納得できるよう仲立ちをしています。

戸外遊びでは、学園外へのお散歩にも挑戦しています。これまでの学園内での散歩を通して、手をつないで並んで歩くことや、お約束を守ることにも慣れてきたぱんだ組さん。次のステップとして、学園外を塀沿いに歩くことから始めています。3学期には、近くの公園へ遊びに行く予定です。決まった相手と手をつなぐことで安心感を持ち、友だちとの信頼関係を築きながら、楽しんで交通ルールを覚え、守れるようにしていきたいと考えています。また、園庭遊びとも合わせて基礎体力なども育んでいけたらと思います。

3学期は進級に向けて、年少組との交流の時間を多く取り、進級後のイメージが具体的に持てるようにしていきます。また、発表会は、子どもたちの「いつもの様子」をご覧いただけるよう準備を進めています。ぱんだ組の等身大の可愛らしさをお見せできればと思いますので、どうぞ楽しみにしててください。

ぱんだ組で過ごす時間も、いよいよ残りわずかとなりました。来年度へ向けて少しずつ準備を行いながら、みんなでたくさん思い出を作ってお過ごしていきたいと思います。

(ぱんだ組担任 武藤)



3学期の目標

- ・冬の感染症に配慮し、健康に過ごす。
- ・保育者に見守られながら、友だちとの言葉のやり取りを楽しむ。
- ・好きな遊びの中で、友だちと関わりをもち親しんでいく。
- ・進級への喜びや期待感をもつ。

